

令和8年7月21日

各位

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2026」について

本方針では、「責任ある積極財政」のもと、官民が連携して戦略分野への大胆な投資を推し進め、「強い経済」の実現を目指すという、政府の固い意志が示された。

また、予算編成のあり方も見直し、中・長期的な視点で投資枠を確保することで予見可能性を高め、企業投資を後押しする方向性が示されたことを評価する。

成長投資の効果をあまねく波及させるためには、各地が持つ産業特性や強みを最大限に活かすことが重要だ。当地においては、ものづくり産業の集積を基盤に、新たな成長分野への投資をしっかりと呼び込み、我が国経済の成長を牽引すべく、更なる発展につなげていくことが極めて重要である。

併せて、中小企業の「稼ぐ力」を高めることが急務である。省力化・デジタル化への投資促進や、価格転嫁や取引の適正化を力強く支援し、持続的な賃上げが可能となる環境を官民で整えていくことが求められると思う。

なお、積極的な財政運営を進めるにあたり、財政の持続可能性と市場の信認と言った視点は不可欠である。成長分野への重点的な投資とともに、不断の歳出見直しなどによる財政との両立には十分留意されたい。

名古屋商工会議所
会頭 嶋尾 正